

## 第1号議案

特定非営利活動法人パートナーシップなとり

# 平成28年度事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

## 平成28年度のまとめ

平成28年度も、前年度に引き続き名取市より受託させて頂いた名取市市民活動支援センター(以下などセンという)の管理運営業務を中心に活動を行った。平成27年4月1日から業務が始まった新館での業務も2年目となり、前年度よりもさらに円滑な運営ができるようになった。なお、平成27年3月末で1名が退職したが、4月から1名を採用できたため、これまで同様の、などセンの管理運営を続けることができた。

自主事業としては、パートナーシップなとりのパンフレットを作成し、当法人の周知を図った。また、などセンわくわくフェスタの事務局を引き受けるとともに、平成29年度に実施する名取市市民協働提案事業に応募し、採択された。また、法人の理事を1名増員し、マネージャーとして管理運営にあたるとともに、スタッフの業務内容に鑑み、若干ではあるが、手当を増額した。

## I 事業に関する事項

### 1. 情報収集及び提供事業

インターネットを活用した情報発信

パートナーシップなとりの認知度向上及び市民活動団体の情報を発信するため、平成26年3月に立ち上げたホームページを適宜更新し、講座や交流会等の案内及び報告を行った。

### 2. 多様な団体との交流・連携の促進事業

(1) 地域市民活動団体同士の地域連携交流会の開催。

平成27年度の情報交換会で求められた市民へのアピールと団体間の交流の場として平成27年10月4日になとセンわくわくフェスタ(2015)を行ったが、平成28年度も実施したいという要望が多かった。そのため、今年度も実行委員会を開催し、平成28年11月19日になとセンわくわくフェスタ2016を開催した。当法人は前年に引き続き事務局を担当した。

名称：などセンわくわくフェスタ

日時：平成28年11月19日(土)

会場：などセン

内容：団体紹介ブース、団体紹介パネル展示、みのり園のクッキー販売、スタンプラリーとお菓子すくい、カレーパンの提供、産直野菜、加工品の販売

参加団体：ブース10団体、発表2団体、パネル展示のみ10団体、いろいろ市場4団体、飲食2団体、スタンプラリー150人

参加人数：約160名

\*実行委員会準備会を7月28日に行い、即日実行委員会を立ち上げた。実行委員会は7月28日、8月22日、9月23日、10月17日の合計4回行った。また、前日の11月18日にはフェスタの準備を行った。

\*今回は市民活動フォーラムとは分離開催となったため、相乗効果を見込めなかったが、スケジュールや会場、講師等との細かな調整が不要となり、スタッフともどもフェスタに専念することができた。

(2) イオンモール名取プレミアムフライデー「Health & Wellness」への協力

平成29年2月に、名取市商工観光課の紹介でイオンモール名取から、毎週金曜日のイオンホー

ルとつばさのひろばの「Health & Wellness」をテーマとした活用方法について打診があり、などセンの事業として、登録している市民活動団体の活動の場としてイオンホールの利用の中立ちをすることとなった。当法人としても、当法人のPRと登録団体の紹介を平成29年4月からつばさのひろばで月に1回行うこととした。

(3) 名取市市民活動支援センターへの事業協力、共催事業の実施。

業務としては受託業務の範囲ではあるが、他法人との調整などを行った。

① 専門相談会には当法人理事を派遣しなかったが、また、などセンの運營業務の一環として杜の伝言板ゆるるに専門相談員の派遣を依頼するとともに、平成28年2月10日の第1回市民活動団体と企業の情報交換会にコーディネーターとして当法人の代表を派遣した。

② 情報交換会への参加

市民活動を行う団体として、情報交換会に参加した。

③ 市民活動フォーラムへの参加

市民活動フォーラムの開催に際して、コーディネーターを紹介し、市民活動を行う団体として、市民活動フォーラムに参加した。

④登録情報の更新

などセンへの登録情報を更新した。

⑤名取市市民活動支援センターへの協力

市民活動支援センターの業務に適宜、協力した。

### 3.市民活動団体等に対する支援事業

(1) 市民活動講座及び交流会の実施

28年度もなどセンの管理運営に力を注いだため、当法人単独での講座を実施することはできなかったが、などセンわくわくフェスタの事務局としての活動など、市民活動団体との関係の維持に努めた。

(2) 平成28年度名取市市民活動支援センター管理運營業務の受託

平成28年3月31日に契約を締結した「平成28年度名取市市民活動支援センター管理運營業務」を受託し、実施した。実施した管理運營業務は以下のとおりである。

①名取市市民活動支援センターの管理

貸室、貸事務室、コピー機・印刷機、その他の管理を行った。

②市民活動支援センターの運営

1)市民活動への情報提供：情報収集と情報啓示を行った。

2)などセンだよりの作成：7号から12号まで発行した。

3)相談業務：窓口、電話、メールでの相談を受けた

4)市民活動団体向けの専門相談会開催：12回予定し、5回、11団体からの専門相談を受けた。相談員の派遣を認定NPO法人杜の伝言版ゆるる、及び当法人に依頼した。

5)などセン市民活動講座の実施：外部講師を招き、5回の講座を開催した。

6)情報交換会の開催：3回の情報交換会を実施した。

7)市民活動フォーラムの開催：フォーラムを1回開催した。

8)ホームページ・ブログ・みやぎNPOナビ名取版の運営：適宜更新をした。

9)団体情報管理：登録団体は17団体増加し、133団体となった。それぞれの団体に登録内容の更新を依頼した。

10)イオンホールとつばさのひろばの「Health & Wellness」をテーマとした活用方法についてイオンモール名取と交渉を行った。

11) 公益社団法人名取市シルバー人材センターに、週 4 回、17:45~21:45 の 4 時間で業務委託を行った。

#### 12) その他

平成 28 年度は毎月の定例報告会を行い、委託者である名取市担当部局との意思疎通、情報共有を図った。(11 月、12 月は文書報告)

#### (3) 平成 29 年度名取市市民活動支援センターの指定管理契約の締結

平成 28 年 11 月に名取市から指名を受け、名取市市民活動支援センター指定管理事業計画書を名取市に提出した。名取市議会の承認を得て、平成 29 年 4 月から指定管理者としてなとセンの管理運営を行うこととなった。

#### 4.調査研究および資料等の発行事業

平成 28 年度は、当法人の自主事業の一つと考えている「市民活動情報の提供事業 ～ 名取の市民活動情報冊子とデータベースの作成 ～」事業を平成 29 年度に実施する名取市市民協働提案事業に応募したところ、無事採択された。平成 29 年度に名取市と連絡を密にして事業を実施する予定である。

## II 組織運営に関する事項

### 1. 理事会の開催

理事会を月 1 回のペースで合計 12 回開催し、事業の執行及び組織の運営に当たった。

- 第 1 回 4 月 16 日(土) 10:00~12:00 市民活動支援センター 会議室
- 第 2 回 5 月 21 日(土) 18:00~21:30 市民活動支援センター 会議室
- 第 3 回 6 月 11 日(土) 18:00~21:30 市民活動支援センター 会議室
- 第 4 回 7 月 16 日(土) 18:00~21:30 市民活動支援センター 会議室
- 第 5 回 8 月 21 日(日) 16:00~17:30 市民活動支援センター 会議室
- 第 6 回 9 月 21 日(水) 18:00~21:30 市民活動支援センター 会議室
- 第 7 回 10 月 22 日(土) 18:00~21:30 市民活動支援センター 会議室
- 第 8 回 11 月 21 日(月) 18:00~21:30 市民活動支援センター 会議室
- 第 9 回 12 月 18 日(日) 14:00~17:30 市民活動支援センター 会議室
- 第 10 回 1 月 23 日(月) 18:00~21:30 市民活動支援センター 会議室
- 第 11 回 2 月 27 日(月) 18:30~21:00 市民活動支援センター 会議室
- 第 12 回 3 月 27 日(月) 18:30~21:30 市民活動支援センター 会議室

### 2. 団体の広報

当法人は独自ドメインを取得し、平成 26 年 3 月 23 日にホームページをさくらインターネット(株)のレンタルサーバーを使用してホームページを開設しており、28 年度はそのホームページを維持した。URL は <http://www.ps-natori.org> である。

また、当法人のパンフレットを 1000 部印刷し配布した。

### 3. 会員

正会員：個人 11 人

団体 1 団体

### 4.職員の採用と人事管理

①平成 28 年度のなとセンの管理運営にあたって、平成 27 年 4 月に採用した 4 名のスタッフのうち、1 名が退職したため、平成 28 年 4 月 1 日から 1 名を採用し、合計 4 名で管理運営業務を進め

た。

②職員1名が3月31日付けて退職したため、3月に採用試験を実施し、1名の職員を4月1日付け採用予定者として決定し、3月に研修を行った。平成29年度は職員総数4名でのスタートとなった。

#### 5.職員の研修

職員のスキルアップのため、14回の講座・講習会等の研修にのべ15人を派遣した。